

平成29年度

宮崎文化振興協会研究報告書

公益財団法人 宮崎文化振興協会

巻 頭 言

本研究は、本協会の職員が日常の業務を遂行する中で問題点や課題を見つけ、分析し、その対応策を検討するという実践的な研究をまとめるところからスタートして6年目を迎えました。

研究報告書は平成24年度に第1号を創刊して以来、今年度の9件の研究報告を入れて、これまで共同研究者を含め延べ142名の職員から86件の研究報告が寄せられています。

研究をされた職員の皆様には、時間的にも厳しい状況の中で、日々の業務を振り返り、熱心に研究され、まとめるという作業に取り組み、その苦闘及び努力に敬意を表します。

人口減少や少子高齢化が進む中、利用者数を維持できる施設にしていくための改革改善等を行う手段としては、(1) 利用者のアンケートで提案があったもの、(2) 協会モニターの提言によるもの、(3) 職員の思いつきやアイデアによるものなどがありますが、担当職員が課題を掘り下げて行う裏付けのある実践研究に敵うものはないだろうと考えています。

職員の皆様には、今後も引き続き研究事業に取り組んでいただき、その研究成果が、来館されるお客様の「感動」や「癒し」になったり、さらに、研究をされた職員ご自身の「心の豊かさ」につながり、そして、やって良かったと「しあわせな気分」になってほしいと願っております。

最後になりますが、本協会が管理運営している宮崎科学技術館は、今年度で開館30周年を迎えることができました。

「That's one small step for a man, One giant leap for mankind.」

～ Neil Alden Armstrong ～

「これは一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては偉大な飛躍だ。」 ～ニール オールデン アームストロング～

この言葉は、1969年(昭和44年)7月20日に、アポロ11号の月面着陸船イーグル号から下りて、歴史上初めて人類が月面に着陸した時のアームストロング船長の言葉です。

まだ研究に取り組んでいない職員の皆様も「研究の小さな一歩」を、さあ踏み出しましょう。

平成30年3月吉日
公益財団法人宮崎文化振興協会
理事長 井上雄二